

平成 27 年度 第 4 回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	平成 28 年 3 月 18 日(金) 13 時 30 分から 14 時 15 分まで
開催場所	大垣市民病院 2 病棟 1 階 会議室
議 題	前回開催時の課題に対する報告、定例報告及び紹介率向上への取組みについて
出席委員	委員長 大垣市医師会長 山川 隆司 副委員長 大垣歯科医師会長 片野 雅文 委員 大垣市医師会理事 近藤 潤一郎 委員 大垣市医師会理事 沼口 諭 委員 揖斐郡医師会長 小林 収 委員 大垣歯科医師会副会長 荻下 雅仁 委員 大垣薬剤師会長 松本 正平 委員 大垣市教育長 山本 譲 委員 大垣女子短大 看護学科教授 伊藤 恒子 委員 岐阜県西濃保健所長 加納 美緒 委員 弁護士 鈴木 一朗
公開区分	公開
傍 聴 人	なし
審議概要	<p>1. 報告事項</p> <p>1) 前回要望事項等について</p> <p>(前回要望事項等) ①循環器内科のダイレクトコールのようなシステムを、他科でも検討してほしい②検査も地域連携予約可能にほしい③市民を対象にした講演会の年間予定をホームページに載せてほしい</p> <p>(事務局)</p> <p>①、診療科によってはマンパワーが不足しており、今すぐにとすることは困難な状況である。医師の人数が増えてきたら、ご希望に添えるように考えたい。②医師会及び歯科医師会に説明のうえ、開始した。③講演会の年間予定は、院内の学術・研修委員会が中心になり作成している。内容と日程が決定し次第、ホームページに掲載するようにしている。</p> <p>2) 定例報告事項</p> <p>(1) よろず相談・地域連携課から、①紹介率・逆紹介率、②紹介医からの診察・検査件数、③開放型病床利用状況、④救急統計、⑤地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況、⑥地域連携クリニカルパス登録状況、⑦OMNet 利用状況について報告した。</p> <p>①紹介率……27 年 4 月～28 年 2 月平均:52.3% 逆紹介率…27 年 4 月～28 年 2 月平均:103.0%</p> <p>※紹介率について県医療整備課の確認を受け、平日及び夜間救急に紹介状を持</p>

参される患者さんについては紹介率にカウントしてはいけないこととなったので、数字を訂正した。

②地域連携紹介診察件数…27年4月～28年2月計:9,523件

地域連携紹介検査件数…27年4月～28年2月計:1,342件

③開放型病床登録医数…28年2月末:102人(医科87人、歯科15人)、
利用率…27年4月～28年2月平均:13.6%

④救急受診患者数…27年4月～28年2月計:42,643人(月平均3,877人)

救急車利用件数…27年4月～28年2月計:8,721件(月平均793件)

救急入院患者数…27年4月～28年2月計:2,539人(月平均231人)

⑤地域医療従事者に対する研修…27年4月～28年2月開催数:46回、
参加人数計:4,030人(院外735人、院内3,295人)

＊病診連携カンファレンス、糖尿病コメディカル研修会、西濃がん早期診断研修会、
在宅医療研修、西濃循環器症例検討会、西濃中枢神経薬剤師研究会 等
市民対象の講演会等…27年4月～28年2月開催数:15回、参加人数計:507
人(院外461人、院内46人)

＊がんの市民公開講座、糖尿病公開講演会、成人気管支喘息教室 等

⑥地域連携クリニカルパス登録状況…27年4月～28年2月登録総数898件
28年2月末時点におけるパス開始からの登録総数:5,063件

⑦OMNet 利用状況…28年2月末時点 利用者数:81人

患者同意者総数:8,404人

(2)委員から、上記の報告について次のとおり意見・質問があった。

(委員)救急患者の紹介状は紹介率にカウントしないとはどういう意味か。

(事務局)厚生労働省が、平成26年度から休日夜間については紹介患者に該当しない、という方針に変更した。休日夜間については、開業医の先生方からの紹介状を持参していても紹介率には反映しないというようになった。

(事務局)時間外であっても紹介状を持参された患者さんは優先的に診させていただきますので、それは今までと変わらないので、ぜひ紹介状をお願いしたい。

(委員)時間外や夜間に紹介状を持って受診されても、紹介率には反映しないと。

(事務局)紹介率に反映されないだけであって、やはり紹介状を書いていただけるのはありがたい。

(委員)前年度の紹介率は再計算すると、50パーセントを切っていたのか。

(事務局)50パーセントを切っていた、ということになった。ただし、地域医療支援病院の認定に関しては、今年度は2月末現在で52.3パーセントということなので、今年度は50パーセントをクリアできる予定である。

(委員)救急が前年度より増えているのは、何か原因があるのか。

(事務局)携わる医師が若返って、ウィークデーは常時4人になったので、サービスが向上しているためと思われる。

(委員)OMNetの利用について歯科は大垣市内だけか。不破郡などどうか。

(事務局)同時アクセス件数の縛りがあるので、その辺りは利用状況を見ながら進めていきたい。診療点数について、開業医の先生方が OMNet を利用されると 1 回について 30 点を取れて、当院は退院時に 230 点を取れるのではないかと考えている。
(委員)電子的な情報提供に関する加算については、セキュリティは大丈夫か。
(事務局)当院で採用している仕組みは、多くの病院で採用しているものなので、大丈夫と思う。

3)紹介率向上への取り組みについて

よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。

①1 月から開始した、患者さんからの電話での診察予約申し込み件数は、4 月から 2 月までで 556 件。地域連携予約全体のうち 5 パーセント前後で推移。地域的には大垣市からが 80%以上で、診療科は多い順に皮膚科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、形成外科の順であった。

②かかりつけ医紹介センターの相談件数は、4 月から 2 月までで 238 件。前年度の月平均 15.5 件に対し、今年度の月平均は 23.6 件に増加した。

2. 検討事項

(委員)院外処方について、不具合が出ている事例がある。例えば後発医薬品を処方を出されて患者さんがどうしても先発医薬品が欲しいという場合に、疑義照会して先発医薬品を出したという事例があると。その後に市民病院に問い合わせると当該先発医薬品が登録されていないので、結局レセプトには後発医薬品名で行ってしまっていると。そうすると突合した場合に薬局では先発医薬品を出しているが、市民病院からは後発医薬品を出していることになっていると。こういうような不具合が出ている状況になっているので、ぜひとも後発品を採用している場合に関しては一般名で処方していただきたい。次に院外処方が伸びない理由の一つとして、現状は診療科の方で処方箋を出しているということで手間がかかっていると。会計の所で処方箋が出るとスムーズかと思うので、スムーズに処方箋を出す方法を考えてもらえないだろうか。

(事務局)一般名処方に関しては今年度検討しており、一般名処方を来年度の早い時期に対応していこうということになった。電算担当に確認したところ、5 月位を目途に院外処方のシステムを整えたいということで、聞いている。次に院内処方箋の発行についての会計での集中化については、院内で検討させていただく。

(委員)今は先発品と後発品が混じっていて、先発品でないと嫌だと言われる患者さんも時々いらっしゃる。会社によって後発品でも値段が違うこともあり、收拾するまでは大変である。

(事務局)よろず相談・地域連携課の場所移動については、施設としては 7 月を目途に移行が完了する予定。今までは廊下で対応するような状況だったが、今後は改善

	<p>される。</p> <p>(委員)特別初診料5,400 円について、気になるのは小児夜間救急ではどうするかということで、今の病院での方針をお聞かせいただきたい。</p> <p>(事務局)特別初診料に関しては、この4 月からの変更になる。特別初診料ということで5,400 円いただくことになるが、小児夜間救急については、通常の救急患者さんと同じで 5,400 円をいただく形で、この 4 月から運用させていただきたいと思っているので、ご理解いただきたい。小児に関しては大垣市の施策で診察の料金をいただかないが、この特別初診料に関しては大垣市の施策とは違うので、いただくということになる。</p>
次回開催	平成 28 年度第 1 回は平成 28 年 6 月 29 日(水)に開催予定とする。